

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ **37** 号

2017年7月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



怖いヲ読ム



『火打箱』

サリー・ガードナー 著 やまだ じゅん こ 山田 順子 訳 東京創元社 2015年

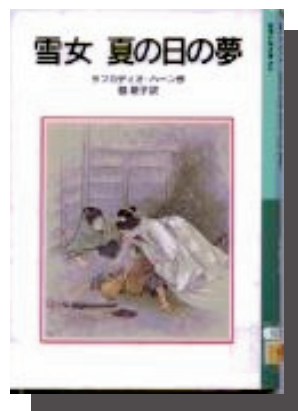
戦場で生き残った若い兵士が半獣の男から道を示すサイコロを譲り受けた。サイコロに導かれ旅をする中、兵士は少女に恋をし、はぐれた彼女を探して魔女や狼の怪物と出会う。

アンデルセン童話『火打箱』に、ガードナーがヨーロッパの30年戦争という時代背景をつけ再構築した本作品。美しくも恐ろしい、不思議だが生々しい世界に引き込まれる。生々しさの正体を知りたければ、著者ノートを読んでほしい。本当に恐ろしいモノに、あなたは気が付くはずだから。

『雪女 夏の日の夢』

ラフカディオ・ハーン 作 わき あき こ 脇 明子 訳 岩波少年文庫 2003年

ある冬の夕暮れ、茂作と巳之吉は村までの帰り道、吹雪のため途中の小屋で一夜を過ごすことに。巳之吉は夜中に目覚め、ふと隣に寝ている茂作を見ると白い着物を着た美しい女が茂作に「ふう」と、白いけむりのような息を吹きかけていた…。この「雪女」は、誰もが小さい頃に読んだり聞いたりした記憶があるのではないだろうか。小泉 八雲と名乗ったラフカディオ・ハーンによる日本人の妻から語り聞いた日本古来の「怖い」物語を題材とした短編集。

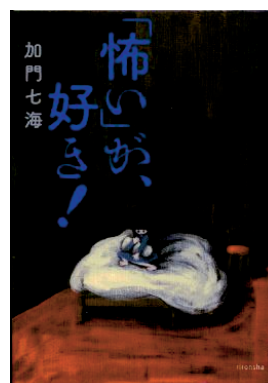


『「怖い」が、好き!』

加門 七海 著 かもん ななみ 理論社 2010年

「怖い」の種類は4つある。そのうちの1つ「わからない怖さ」。「お化け」は、いるかいないかわからないが、見たという話は多く存在するという曖昧なものである。昔の人はその曖昧な恐怖から逃れるために、お盆やお彼岸などの年中行事や鳥居、橋など境界を作ることで人と「お化け」の世界を分け、共存してきた。

著者の実体験や昔からの怪談を交え、「怖い」の正体を探る作品。「怖い」を知れば、あなたも「怖い」がもっと好きになる!



『ジーキル博士とハイド氏』

スティーヴンスン 作 かい ほ まさ お 海保 真夫 訳 岩波少年文庫 2002年

人々から尊敬を集め、慈善家でもある医師ジーキル。見る者に嫌悪感を抱かせ、さらに暴行・殺人をも犯す悪人ハイド。年齢も容姿も全く違う2人だが、それぞれの書いた手紙を比べると驚くほど筆跡が似ていることがわかった。こんな偶然があるだろうか。共通の知り合いの弁護士アタスは2人の関係性を怪しむが、真実を探るうちに恐ろしい事態が起こってしまう。

「二重人格」の代名詞ともなった古典的怪奇小説。



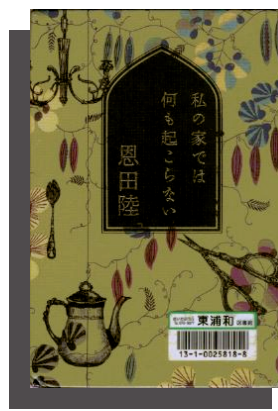
『私の家では何も起こらない』

恩田 陸 著 おん た りく りく メディアファクトリー 2010年

丘の上に建つ2階建ての古い家。かつて「私」の叔母が住んでいたその家には、今日も幽霊屋敷マニアがやってくる。昔、家で起きた様々な悲劇を聞くために。

ある時はキッチンで姉妹が殺し合いをした家。またある時は、さらってきた子供を殺した女が住んでいた家。なぜ最もくつろげる、居心地がいいはずの「家」で怪異が起きたのか。

一軒の古い屋敷を舞台に、時を越えた10の物語が紡がれる。



『怖い絵』

中野 京子 著 なかの きょう こ 朝日出版社 2007年

美術の教科書にも載っている巨匠たちの絵画。とても美しく、見ただけで楽しいものですが、その絵が描かれた時代や場所、モチーフについてどれだけ知っていますか?

『怖い』をテーマにしてこの本に収められた絵画は、見たままに恐ろしい作品から一見幸せそうに見える子ども達の肖像画まで様々。しかし絵画が持つ本当の意味を知ったとき、見た目とは異なる怖さがやってきます。

絵画の秘密を知ったとき、今までのように絵を見ることができるようか?



ほんの
ひととき。

怪談えほんシリーズ



(シリーズ通巻9)

「絵本なんて子ども向けだ。」と思っているあなたにこそ読んでほしい作品です。



『かがみのなか』

おん だ りく
恩田 陸 作
樋口 佳絵 絵

岩崎書店 2014年



『悪い本』

みや べ
宮部 みゆき 作
よし だ ひさのり
吉田 尚令 絵

岩崎書店 2011年



『ちようつがい きいきい』

か ちん なな み
加門 七海 作
かる べ たけひろ
軽部 武宏 絵

岩崎書店 2012年

いつか どこかで

あなたは だれかを きらいになります

だれかが いなくなればいいと おもいます (『悪い本』より)



人はいろいろな経験をし成長するにつれて、悪の感情を抱くものです。

この「悪い本」を読むと、あなたの心の中にある「悪」と向き合うことになります。

そのときにあなたは本当の恐怖を知るでしょう…。

今回は「怖い」をテーマに9冊の本を紹介しました。

夏の思い出に家族やお友達と「怖い」を体感してみてくださいはいかがですか？

次回
予告

はぴ38号(10月発行)のテーマは

はしる

「第4回 ビブリオバトル はぴの陣」7月28日(金)開催！

詳しくはチラシまたは図書館ホームページで！

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。